

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

(策定年月日) 令和 8 年 1 月 20 日

(協議会名称) 浜松市地域公共交通会議

1. 生活交通改善事業計画の名称

バリアフリー化設備等整備事業計画（鉄道関係）

・遠州鉄道 鉄道線生活交通改善事業計画

2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性

【駅のバリアフリー化】

「高齢者、障害者の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針（H23. 3. 31）」では、鉄道駅については、地域の実情に鑑み、利用者数のみならず、高齢者、障害者等の利用の実態等を踏まえて、移動等円滑化を可能な限り実施することとされている。

遠州鉄道 鉄道線では、平成 24 年度の高架化延長による 3 駅（助信駅・曳馬駅・上島駅）のバリアフリー化、平成 26 年度には遠州病院駅へのエレベーター設置・多目的トイレの整備、平成 29 年度には、浜北駅のバリアフリー化が完了。令和 4 年度には八幡駅のバリアフリー化が完了した。また、ホーム転落防止対策として、平成 30 年度から令和 5 年度までに 10 駅へホーム固定柵を設置した。

令和 6 年度・令和 7 年度の 2 ヶ年にて、長年の課題であった第一通り駅のバリアフリー化に着手し、現在工事実施中である。

令和 8 年度には遠州小林駅駅前整備にあわせて、バリアフリー基準にあわせたスロープ改修工事に着手する。

誰もが安全、安心して鉄道利用できる環境の実現を図る。

3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果

（1）事業の目標

●移動等円滑化の促進

鉄道駅のバリアフリー化に対する補助制度を活用し、高齢者、障がい者を含めたすべての人が、安全に利用することができる環境整備を図る。

（2）事業の効果

●遠州小林駅スロープ改修工事（令和 8 年度工事）

高齢者及び障がい者の方も安全、安心に鉄道利用することができる。

・スロープ改修工事（令和 8 年度工事）

1 日当たり平均乗降人員（令和 6 年度）

・遠州小林駅 2,452 人

2,667 人（令和元年度参考）

4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者

(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）

●事業の内容

- ①遠州小林駅スロープ改修工事（令和8年度）
・スロープ改修工事費用 金額 130,000千円

●事業を実施する事業者

遠州鉄道株式会社

5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和8年度（当該年度）

事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
バリアフリー化設備等整備事業	130,000千円	43,333千円	0千円	43,333千円	43,334千円
	100.0%	33.3%	0%	33.3%	33.4%

6. 計画期間

- ① 遠州小林駅スロープ改修工事
令和8年度着手・令和8年度完了

7. 協議会の開催状況と主な議論

- ・令和8年1月20日（令和7年度第3回浜松市地域公共交通会議）
生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業、鉄軌道安全輸送設備等整備事業）について協議。

8. 利用者等の意見の反映

地域住民・利用者代表として自治会連合会、市民団体が協議会構成員となって協議に参加。

9. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	静岡県交通基盤部地域交通課
関係市区町村	浜松市都市整備部
交通事業者・交通施設管理者等	静岡県バス協会、遠州鉄道(株)、浜松市タクシー協会、静岡県タクシー協会浜名湖北遠支部、遠州鉄道労働組合、浜松中央警察署、浜松東警察署、浜松西警察署、浜北警察署、天竜警察署、細江警察署、浜松市土木部
地方運輸局	中部運輸局静岡運輸支局
その他協議会が必要と認める者	名城大学教授、天竜地域自治会連合会、北地域自治会連合会、浜北地域自治会連合会、南地域自治会連合会、浜松いきいきネットワーク、NPO法人がんばらまいか佐久間、NPO法人春野のえがお

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 静岡県浜松市中央区元城町 103-2
(所 属) 浜松市都市整備部交通政策課
(氏 名) 竹内 駿平
(電 話) 053-457-2910
(e-mail) kotsu@city.hamamatsu.shizuoka.jp